

神崎市国土強靱化地域計画（案）に関するパブリックコメントの結果について

神崎市では、本市における国土強靱化に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、『神崎市国土強靱化地域計画』の策定作業を進めています。

この計画をより良い計画にするために、市民の皆さまからご意見を募集しました。

提出されたご意見の概要及びそれに対する市の考え方について、次のとおり取りまとめましたので、ご参照ください。

1. 意見募集案件：神崎市国土強靱化地域計画（案）
2. 意見募集期間：令和2年3月6日（金）から令和2年3月12日（木）
3. 担 当 課：防災危機管理課
4. 意見提出件数：3件

ご意見（1）

千歳地区については、肥沃な土地であることから、施設園芸作物特にアスパラガスや小葱などの栽培が盛んな地域であり、現在でも新規での施設園芸の取組みが増加している地域である。

地域的には平坦部であり筑後川の下流域に位置することから、梅雨時期の大雨や台風等の影響を受け易く施設内の冠水等に悩まされてきた。

生産者も圃場を選定する際にはそのような被害があることを想定し、排水路を確保し堆肥等で高棟にする等の工夫をした上で栽培されているが、温暖化による異常気象の影響は想像を上回るものである。

近年は毎年のように水害、圃場冠水などによる出荷停止等の被害が発生しており生産意欲の低下につながっている。

農業者の高齢化、離農が進む中、千歳地区については施設園芸が盛んな地域であり、肥沃な土地を活用すれば今後も園芸振興を図ることが可能と考えられるが、今後も温暖化の影響により大雨等の災害は増加する可能性が高い。

将来の地域振興及び農業振興のため同地域への対策を要望したい。

ご意見（1）に対する市の考え方

市におきましても、千歳地区を含む神崎市南部地域において冠水被害が発生していることについては、対策が必要であると考えております。

神崎市南部地域の内水面の排水対策としては、国営総合農地防災事業、県営クリーク防災機能保全対策事業により水路改修等を実施し、排水機能向上を図るなど、国、県及び佐賀東部土地改良区などの関係機関と連携して取り組んでいます。

千歳地区については、国営千代田線及び国営三田川線の末端部に位置しており、この2つの幹線水路の流域における排水対策については、地域内の連絡水路網の整備を進めるなど、内水面排水対策が重要と位置づけられており、国営総合農地防災事業や県営クリーク防災機能保全対策事業において早期の水路改修要望を行ってきました。

県営クリーク防災機能保全対策事業においては、主に東西の横水路を整備していただいておりますが、国営三田川線と県営浮島線に通じる連絡水路については、排水機能を向上させるため、優先的に整備をしていただいております。

これにより、国営三田川線から県営浮島線を通じ中津江川への流入を向上させることで、浮島排水機場が効果的に運用でき、排水効果も上がっていると考えられます。

また、現在、実施中の国、県営事業による水路機能の回復に伴い、貯留断面の確保がなされたことによる貯留機能向上により、被害軽減効果につながっていると考えられます。

更に、国営及び県営水路などの幹線水路を管理する佐賀東部土地改良区により、可能な限り大雨前に水位を低下させ、洪水に備えた貯留ポケットを確保するなど、被害の軽減対策が行われております。

市としても、国営事業や県営事業により水路機能の回復を図り、貯留及び排水機能を確保することが重要と考えております。今後も、国、県及び佐賀東部土地改良区などの関係機関と連携し、更なる取り組みの強化を行っていきたいと考えております。また、この実施効果をより高めるためには、地域住民の皆様のご理解とご協力が必要でありますので、よろしく申し上げます。

なお、本計画においても、国、県及び土地改良区等と連携し、治水対策を推進することとしております。

ご意見（2）

駅ヶ里地区にある県営住宅神埼団地の辺りから出来町地区の地域は、毎年6月～9月くらいに大雨が降った時には道路が冠水してしまいます。神埼小学校への通学路にもなっているため、この時期は地域住民にとっては、不安や心配の種となっています。

そこで、以前テレビで見た福岡市博多区にある山王公園の地下にある「山王雨水調整池」を思い出しました。

2003年に御笠川が氾濫して被害が出た後に作られたらしく、大雨等で水害が起きそうな時は、その調整池へ水を送り込めるそうです。

もし、神崎市にもこのような調整池ができれば、この地域や多くの神崎市内を水害から守れるのではないかと考えました。ちょうど近年、すぐ近くの神崎高校が移転されるそうで、その校舎やグラウンドの跡地の地下に「山王雨水調整池」のような物が作れるのであれば、かなり水害のリスクを抑える事ができると思います。

もし調整池を作るとしても莫大な予算が必要だと思えます。

でも、ここ数年毎年、日本の各地で大きな水害が起きていますし、近年の短時間での集中豪雨の量は、少し前と比較しても大変なものです。私も子どもが3人いますし、もし私が仕事で不在の時などに家族が被害にあわないかという不安もあります。

ご意見（2）に対する市の考え方

神崎町駅ヶ里地区南部から出来町地区にかけての地域につきましては、ご意見をいただきましたとおり、毎年6月から9月頃までの大雨の時期については、地域内を流れる

都市下水路及び笹隈川の増水時において、最終的な排水先である有明海の潮位に左右されることなどから、幾度となく住宅地周辺の道路などが冠水する状況となっております。

市としましては、当該地域周辺の冠水被害につきましては、早期な対応が必要であると考えており、駅ヶ里地区から出来町地区にかけての冠水被害を軽減するためには、浚渫など河川及び水路の排水能力を向上させる取り組みや、最終的な排水先である有明海が干潮にならないと排水できないため、干潮時における下流地域と連携した樋門・ゲート等の用排水管理が効果的であると考えております。

また、現在、国の方で進められている城原川の河川整備計画により、城原川ダムの建設及び河川改修が行われることにより、城原川の洪水調節が可能となるため、将来的には城原川流域の治水向上が図られることで、佐賀導水路（排水ポンプ）の運用により神埼市市街地における内水被害の軽減にも繋がるものと考えております。

市としましては、当該地域の冠水被害については、今後においても関係機関と連携し、更なる取り組みの強化を行っていききたいと考えております。

ご提案いただきました、「雨水調整池」につきましては、大雨時、特に下流域における排水不良時などにおいて、当該地域の冠水被害を軽減するためには、効果的であると考えますが、「雨水調整池」などの建設については、莫大な費用と長い年月がかかることとなります。そのため、河川排水については、まずは、排水機場などの既存施設の効果的な運用や、河川の流下能力の向上に向けた取り組みを進めていききたいと考えております。

また、本計画においても、国、県など関係機関と連携し、治水対策を推進することとしております。併せて、高台避難所の整備の必要性も謳っており、整備に向けた計画を進めていききたいと考えております。

市民の皆様のご理解とご支援をお願いしなければなりませんので、よろしくお願いいたします。

ご意見（3）

千代田町中津地区は古来よりすり鉢の底といわれるように、低い土地であります。

平成の初めに圃場整備事業が行われ、かなりの改善が見られましたが、それが十分生かされておらず、未だに6月～7月になると洪水の心配から解放されておられません。

千代田町中津地区は、私宅前の道路を含め、集落内の広い範囲で田地はもとより道路が冠水し、生活行動が制約されるのみでなく、防災上の危険を感じております。

昨年2019年7月の洪水時には、周囲の道路の上40cmまで冠水し、車の移動、歩行による移動の安全が保てない状態が20時間近く続きました。

圃場整備以後も数年に1度の間隔で洪水に見舞われております。10年ほど以前には、自宅前の事務所は夜間の急な増水による床上浸水に対応できず、車や書類デスクの下側の書類等に被害をうけました。

当地区の水利関係者におかれても大変苦勞されているように見受けます。

折角の機会でありますから、以下のような提案を提示するものです。

中津地区の集落の北側にある水路（国道385号から中津江川にかけて東西に延びる水

路＝水路A)の周りは昨年、法面の整備が行われ付近の水の流れも良くなっております。この水路Aの西端は現在中津江川堤防の手前で行き止まりとなっております。そこで、この水路Aの西端を中津江川に開いて樋門(樋門①)を設け、この位置から付近及び北側上流から寄せる水を中津江川に排水する。

水路Aと交差し南北に延びる水路(水路B)の市道中津出来島線の北側に樋門を設け北側から南側への流入を止める。

水路Bの北端を閉止ないし樋門を設け県営水路浮島線側からの流入を止める。

中津集落から浮島排水機場へ延びる水路の南端(浮島排水機場と接する位置)では浮島水門に近く中津江川の水位との排水落差が得られない。

また、集落内の曲がりくねった細い水路と小さな樋門では速やかな排水の流れが得られない。

樋門①は浮島水門より500mの上位置にあり、この位置からであれば排水落差が得られる。

県営水路浮島線の排水門と樋門①を上手くコントロールしてこの位置から水路A周り及び上位の水を早く排水すれば、中津地区の集落内の広い範囲で冠水する場所の水位の上昇を抑えることが出来ると思われる。

「神崎市国土強靱化地域計画」の一環として、この問題についての何らかの対策を講じていただきたく、意見の応募をいたすものです。

ご意見(3)に対する市の考え方

市におきましても、千代田町中津地区を含む神崎市南部地域において冠水被害が発生していることについては、対策が必要であると考えております。

千代田町中津地区を含む神崎市南部地域の内水面の排水対策としては、国営総合農地防災事業、県営クリーク防災機能保全対策事業により水路改修等を実施し、排水機能向上を図るなど、国、県及び佐賀東部土地改良区などの関係機関と連携して取り組んでいます。

県営クリーク防災機能保全対策事業においては、主に東西の横水路を整備していただいておりますが、国営三田川線と県営浮島線に通じる連絡水路については、排水機能を向上させるため、優先的に整備をしていただいております。

更に、国営及び県営水路などの幹線水路を管理する佐賀東部土地改良区により、可能な限り大雨前に水位を低下させ、洪水に備えた貯留ポケットを確保するなど、被害の軽減対策が行われております。

今回、ご意見いただきました、中津地区の集落北側水路の西側より中津江川へ排水するための樋門を設けることによる冠水被害の軽減対策につきましては、水の流れの調査・検討を行うなど、県等の関係機関と連携して調査研究・改善に努めてまいります。

今後においても、千代田町中津地区を含む神崎市南部地域の内水面排水対策につきましては、国、県及び佐賀東部土地改良区などの関係機関と連携し、更なる取り組みの強化を行っていきたいと考えております。